

居心地のいい町になる

- 用途地域の見直し 541万円
少子高齢化や社会情勢の変化に対応するため、土地利用の在り方を見直し、皆さんが安心安全に暮らせるように努めます。
- 地域公共交通の再構築 830万円
大型商業施設の進出や宅地開発などによる新たな交通ニーズに応えるため、公共交通のマスタープランとなる「地域公共交通計画」を定めます。
- JR東水巻駅周辺等整備基本構想事業 512万円
令和4年度から実施している事業ですが、本年度で基本構想・基本計画を完成させ、町の特徴である2つのJR駅を活用する町づくりを推進していきます。
- 定住促進・住環境の維持改善 3,370万円
町内で新たに住宅を取得した世帯に最大30万円の奨励金を交付する定住促進奨励制度、最大60万円を限度とする住宅新築のための古家解体支援補助金制度、最大50万円の補助金を交付する老朽危険家屋等解体補助金制度などの事業を引き続き実施し、「住みよき水巻」の実現に努めます。

- 吉田町営住宅住替事業 1億4,646万円
住み替えの完了した32棟から36棟の除却工事やそれに伴う給水管切替工事を関係機関と連携を図りながら行います。引き続き住み替え事業を進め、JR東水巻駅を中心とした南部地域の整備に努めます。



子育てにやさしい町になる



- 学校給食の公会計化 1億2,400万円
これまで学校が行っていた食材調達や給食費の徴収管理を町が行い、安定的な学校給食を実施します。物価

- 高騰による食材価格の上昇により給食費を改定しましたが、値上げ分については全額町が負担し保護者の負担は据え置きます。
- 出産・子育て応援事業の充実 2,506万円
妊娠から出産・子育てまでのさまざまな相談に応じながら、経済的支援を行うことで安心して子育てができるように支援します。
- 子ども医療費の無償化の継続 1億2,330万円
令和4年度から実施している18歳までの医療費の無償化を引き続き実施することで、子育て世帯の負担を軽減します。
- 聴覚・視覚検査の体制整備 198万円
乳幼児の視覚や聴覚の異常を早期に発見し、早期治療につなげられるように体制整備を行います。

5つの「になる」に向けて――

第5次総合計画の5つの「になる宣言」をもとに、新しく取り組む事業、取り組みを強化した事業や予算額の大きな事業を中心に紹介します。

●問い合わせ 役場財務係 ☎ 201-4321

今年の水巻は、これをやる。

その「他」水巻いいね！ と言われるための戦略

- 消防団員の処遇改善 179万円
地域防災力を担う消防団員の処遇を改善し、団員数の確保に努めます。
- シティプロモーション 140万円
毎年好評の町のPRポロシャツを販売。詳しくは広報みずまきなどで順次お知らせします。また、町の公式キャラクターみずまろを積極的に活用し、町の魅力を発信していきます。



働ける町になる



- 商工業者への支援 3,684万円
働ける場所の維持拡大につながる町内商工業者への支援として、制度融資資金・保証料の補助を継続します。
- 農業用水の安定送水 1,200万円
農業用水送水管の老朽化で漏水箇所が年々増加しているため、引き続き県の農村整備総合事業補助金を活用して計画的な改善を行い、農業用水の安定供給を図ります。

学びあう町になる

- 小学校・児童クラブ施設改修 2億1,670万円
伊左座小学校北校舎増築工事、給食用リフトの改修、えぶり児童クラブの改修など、それぞれの学校の実情に応じた教育環境を整備します。
- 少人数学級の拡充 1,008万円
国に先んじて、小学校4年生までだった少人数学級の実施を小学校6年生までに拡充。子ども一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導と、安心安全な教育環境を整備します。
- 副読本の改訂 207万円
小中学校で使用している副読本「わたしたちのまち水巻」を改訂し、GIGAスクール構想で整備した電子黒板などでも活用できるようにしていきます。

健やかで 支えあえる町になる

- 高齢者の保健・介護予防の一体的事業 452万円
医療と介護の課題に対応するため、保健事業と介護予防を一体的に実施し、健康寿命の延伸を目指します。
- 障がい福祉サービス事業 6億9,000万円
障がいのある人が、住み慣れた地域でいきいきと生活できる町を目指します。自宅でホームヘルパーの介護が受けられる居宅介護や、介護する人が病気になったときなどに利用する短期入所（ショートステイ）など、さまざまな福祉サービスを引き続き実施していきます。

